

学習ができる環境をつくりましょう。

- 落ち着いて学習できる雰囲気にしきましょう。
 - ・机の上や周りに気になるものを置かないなど、学習に集中できる環境をつくりましょう。
 - ・テレビを見ながらやおやつを食べながらの「ながら学習」は、時間の無駄です。
 - ・テレビの近くでお子さんが学習しているときは、保護者の皆さんもテレビを見ることを控えるなどの配慮が必要です。
 - ・保護者の皆さんも常に読書をするなど学ぶ姿勢を見せましょう。

学習の時間を決めましょう。

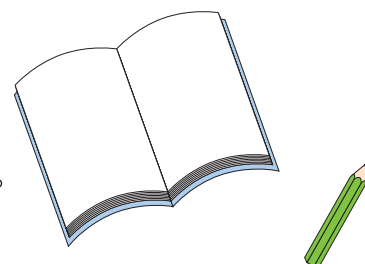
- 学習時間の目安として、小学生は「学年×10分」、中学生は「学年+1時間」などとも言われていますが、自分が決めた時間で、集中して行うことが大切です。
- 部活動や習いごと、手伝いや趣味のための時間もありますので、各家庭で話し合い、毎日続けられる時間を設定してみましょう。

毎日	時間	分
----	----	---

- 学習時間を決めたら、できるだけこれを守るように励ますなど声かけをしましょう。習慣化に向けての第一歩です。

必要な学習を効率よく進めましょう。

- 学校からの宿題があれば、まず、これをしっかり行いましょう。
- 家庭での学習も、学校の授業を基本にししましょう。学校の時間割に合わせて、毎日の学習内容を決めると効果的です。
 - ・予習は分からない言葉を調べたり、復習は教科書やノートを読み返したりするなど、ちょっとしたことで学習内容がより身に付くようになります。
- 次のような工夫など、お子さんに適した学習を考えてみましょう。
 - ・「読み」の学習：教科書を何度も読む。
 - ：新聞や図書館で借りた本を読む。
 - ・「書く」の学習：漢字や語句の意味を辞書で調べ、ノートに書く。
 - ：日記を書く。
 - ・「計算」の学習：練習問題を繰り返し行う。
 - ：間違った問題をもう一度解いてみる。
- 机に向かっての学習だけではなく、家庭での手伝い、野外での活動、社会参加の体験などは、将来に生かされる深い学力が身に付くことにつながります。広い視野でお子さんを見守ってあげてください。



学校の活用

学校や先生をもっと活用しましょう。

- お子さんの学習について困ったことや疑問があったら、まずは担任の先生に相談してみましょう。
- 家庭と学校が連絡を取り合うことで、お子さんの良さをさらに伸ばすことができます。
- 各学校では、学校の指導方針や授業の進め方などについて、学校だよりやホームページで保護者の皆さまに伝えるよう努めています。各学校の取組をさらによくするためのご提案など、遠慮なく各学校にお寄せください。